



No.475

発行 一般社団法人名古屋工業会
(名古屋工業大学全学同窓会)

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4

TEL・052-731-0780

FAX・052-732-5298

E-MAIL・gokiso@lime.ocn.ne.jp

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

一般社団法人名古屋工業会会誌

ごきそ

2017 1-2 月号

【新年挨拶】

水嶋敏夫理事長のあいさつ

鵜飼裕之学長のあいさつ

【研究者紹介】

最新の触覚研究を活用して、人に優しい技術の開発を
細菌の耐性に有効な抗菌オリゴ糖

【学生コーナー】

ランボルギーニACSLでの体験談

【新聞記事コーナー】

中日新聞、中部経済新聞

【情報ネットワーク】

支部報告・会員ニュース



名古屋工業大学 音楽プロジェクト 第2回『東西対抗、声の競演』のお知らせ

日時：2017年3月25日（土曜日） 13：00 ～ 15：00（予定）

場所：名古屋工業大学NITechホール

入場無料

おかげさまで、第1回音楽プロジェクト『語るように歌え』は大盛況のうちに幕を閉じることができました。第2回は『東西対抗—声の競演』と題して、各界でご活躍の方々をお迎えした盛りだくさんのプログラムを企画しました。平安時代より伝わる宗教的伝統芸能の御詠歌、狂言とイタリア版狂言コメディアデッラルテとのコラボ、生理的なメカニズムを最大限に鍛えてどの言語（文化）にも対応できるよう訓練されたベルカント唱法（オペラ）などなどです。身体の使い方の違いが声やリズムにどのように反映されるのか、解説とともにご理解いただけたらと存じます。本学管弦楽団有志により結成された花田公園前アンサンブル選抜メンバーの演奏もお楽しみいただけます。



野口隆行(能楽師・狂言方和泉流)



ジジ デッリーコ(Purcinella、道化)



山川里海(作家)



二宮咲子(ソプラノ)



宮里直樹(テノール)



甚目裕夫(音楽監修、ピアノ)



高井 一(ナビゲーター)



御詠歌、仙壽寺梅花講

名古屋工業大学の染井吉野・山桜もつぼみが膨らんで一番きれいな頃かと存じます。難しい話はなし、どなたにもお楽しみいただける内容にと工夫いたしましたので、是非とも皆様お誘いあわせのうえ、お運びくださいませ。

お申込み、問い合わせ：松浦千佳子（名古屋工業大学准教授）matsuura.chikako@nitech.ac.jp

表紙写真説明

「正門上空から見る！」

撮影者 名工大企画広報室

【表紙写真の提供のお願い】「ごきそ」の表紙を飾る写真（たて長版）をお待ちしています！

新年挨拶

新年のご挨拶

理事長 水嶋 敏夫 (M42)



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

名古屋工業会は全学同窓会組織として「大学支援」と「会員相互親睦」を活動の2本柱として諸施策を推進しておりますが、会員の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年一年を振り返ってみますと、国内では地震や台風など甚大な自然災害に見舞われた地域にお住いの皆様もいらっしゃると思います。まずは心よりお見舞い申し上げます。

明るい話題としては、ブラジルのリオデジャネイロで開催されたオリンピックで日本人選手の活躍に声援を送った方も多かったのではないのでしょうか。

また、英国の国民投票でEU離脱が決まり、米国では新しい大統領が選出される等、我が国の経済等に大きく影響する動きがありました。

一方、名古屋工業大学では鶴飼学長のリーダーシップの下、「科学技術で未来社会を創る」という高い志を育む教育を目指した変革の初年度として、実践的工学エリートの育成をねらった学科の再編や、6年一貫教育課程の新設等の諸施策が本格的にスタートしました。

「大学支援」を事業目的の第一としている工業会としても、この変革の動きに大いに期待しているところであり、産学連携の窓口である名古屋工業大学産学官連携センターや名古屋工業大学研究協力会とも連携し、支援の一層の充実をして参りたいと思います。

また、昨年11月には『第2回ホームカミングデー』を盛大に開催し、多数のOBの方、近隣の方にご参加いただきましたが、久し振りに母校に足を運んで頂いた方、この機会を利用して

旧交を温められた方も沢山おられたと思います。

母校へ来られた方はご覧顶きましたが、正門を入れて右手にあった講堂が、昨年9月『NITechHall (ナイテックホール)』としてリニューアルされ、工業会として新講堂の前に立つアウトドアクロックと1階ロビーのホールクロックの2つを寄贈しました。母校を訪れた折には是非ご覧下さい。

工業会は、今後もこの『ホームカミングデー』を大学と連携した重要な行事として盛り上げていきたいと考えておりますので、より多くの方が参加頂けるよう周囲の同窓の方への声かけもよろしくお願いします。

また最近“リケジョ”という言葉をよく耳にしますが、名古屋工業大学として初の女子会である『鶴桜会 (かくおうかい)』が創設され、今後の活動が大いに期待されるところです。多くのOGの皆様からの工業会会員加入連絡をお待ちしております。

工業会活動のもう一つの重要な柱として「会員相互親睦」があります。

昨年は会員優待制度の拡大に取り組み、これまでの徳川美術館に加え、昨年の春より名古屋ボストン美術館にも会員ご本人は無料で入場して頂けるようになりました。

その他、昨年お知らせした「上新電機」の特別優待や「三井住友トラストロードサービスVISAゴールドカード」の年会費の優待割引、大阪支部の働きかけで「大阪たちばな」の割引優待もできましたので、是非活用して頂きたいと思います。

今後も会員にとってうれしい優待制度は、どんどん広げていきたいと思っておりますので、各支部でもご検討をお願いします。

また、会誌「ごきそ」につきましては、以前からご説明して参りましたが、省資源と通信費削減の観点から、本年1・2月号より紙での配布をやめて、会員専用ホームページでご覧頂くようになりましたので、趣旨をご理解の上ご協力をよろしくお願い致します。

私自身も全国の同窓生の皆さんと懇親を深めたいと思い、各支部総会には可能な限り積極的に参加して参りました。

その中で最近少し変化を感じるのは、女子と若手の会員が少人数ながらも出席してくれている支部が少しずつ表れ始めた事です。

その場合は、女子および若い人に話が集中して、今までとは雰囲気が大きく変わり、更に活発な交流ができてるように思います。

これからも各支部の若い人の会員数は毎年確実に大きく増加します。

是非、若い会員が参加できるよう働きかけをよろしくお願いします。

さて、工業会は今年で創立102年を数えます。次なる100年に向けて、工業会の永続的活動を実現させるため、「大学改革」をスタートさせた母校への支援を的確に実施すると同時に、全学同窓会としての基盤整備と会員サービスの更なる充実を図っていきたいと考えます。

そのためには、会員名簿の整備・保守方法の明確化、計画的な財政運営、工業会と単科会および卒業生連携室との連携の充実、工業会館の耐震化など、山積している課題を昨年発足しました分科会で検討を始めています。

今年是对応策の方向性をクリアにしていきたいと思います。

最後になりますが、本年が会員の皆様にとりまして、実り多き年になる事を祈念致しますとともに、今後とも工業会活動の活性化に向けたご協力と積極的なご提案をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



名工OG会（鶴桜会）



名古屋工業会のHP 会員限定ページについて

会員限定ページをご覧いただく際にはパスワード入力が必要となります。

【パスワード：gokiso5298】

今後とも、よりわかりやすい情報をタイムリーに発信してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

新年挨拶

新年のご挨拶

名古屋工業会 会長
国立大学法人名古屋工業大学 学長
鵜飼 裕之



新年おめでとうございます。

名古屋工業会会員の皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、名古屋工業大学は創立から111年目を迎え、1が並ぶ11月1日に新講堂、NITech Hallにて記念式典を挙行了いたしました。続く11月3日には第2回目ホームカミングデーを名古屋工業会と共催で開催して数多くの同窓生を迎え、教職員、学生とともに記念すべき年を祝うことができました。これもひとえに平素より母校の教育研究活動にご理解、ご支援を賜っております名古屋工業会会員の皆様のお蔭と感謝申し上げます。そして、記念すべき年に相応しいゲストとして、1981年のノーベル化学賞受賞者であるコーネル大学のロアルド・ホフマン教授をお招きしました。博士は著名な学者であるとともに作家でもあり、講演とともに博士ご自身が書かれた自伝的戯曲「これはあなたのもの」を上演いたしました。また、博士には11月2日に開催したテクノフェアにおいても「現代化学における緊張関係：理論と応用、アカデミズムと産業界」という題でご講演頂きました。戯曲は博士のホロコーストという幼少期の凄絶な体験に基づいていますが、一流の科学者でもある博士の人生観、倫理観などが様々な形で表現されています。本学がめざす「実践的工学エリート」は、専門分野の知識と技能のみならず、歴史と風土、文化、社会の仕組み、そして世界を知るための幅広い教養を身に着け、自らの人生観、世界観をしっかりと備えた人材です。その意味で、一連の講演会と戯曲上演を通して、科学技術と人文知の多様な視点からのメッセージを社会に向けて発信することができましたことは、工学系大学としての本学にとって大変意義のあること

でした。名古屋工業会に多大なるご協力を頂きましたことを改めて感謝申し上げます。

さて、昨年4月、大学改革プランの柱である「名工大版理工系人材育成戦略」の一環として学部・大学院組織を再編いたしました。これにより、幅広い分野をカバーする工学の総合大学としての強みを活かし、学問体系に基軸を置きながらも新たな社会・産業界の人材ニーズに対応してまいります。同時に、わが国では初となる大学院博士前期課程までの6年間一貫教育を実現する「創造工学教育課程」を100名の定員でスタートいたしました。ここでは、社会に役立つ製品やサービスを開発したり課題解決の方法論を体系的に学ぶ「工学デザイン科目」をはじめ、複数の分野を体験する「研究室ローテーション」、産学連携への参加や海外研修を行う「研究インターンシップ」など新たなカリキュラムを用意しています。科学技術に対する多面的な視点と新たな価値観で未来の産業・社会に技術革新をもたらすエンジニアを育成する、まさにオープンイノベーション時代に相応しい人財を育成する教育システムです。今年も、教育改革を円滑かつ着実に実施して安定軌道に導くため、教職員一同、心をついて取り組んでまいります。

昨今、様々な観点からの大学ランキングが発表されています。それによると、本学教員の研究力のうち産学共同研究の実績においては、1000名未満の研究者を有する中規模大学では研究費および件数において他を大きくリードしてトップの実績を上げています。今年度はさらに従来を大きく上回り7億円を超える見込みです。昨年スタートした第5期科学技術基本計画においてオープンイノベーションのための枠組み作りが政策の重要課題として盛り込まれるな

ど、産学官連携研究の一層の推進は、新たな産業を起こし産業力の国際的な競争に打ち勝つためには必須な項目です。産学官交流プラザ、産学共同研究講座・部門、プロジェクト研究所、研究協力会などの研究連携の仕組みの他、地域の中小企業を対象とした産学官学び合いプログラム、信金などと連携して新たな産業を起こすための事業創造型組織開発事業など、本学ならではの産学官研究教育連携事業を組織的に推進してまいります。一方、大学が国際的な評価の中で世界トップレベルの研究力をめざすためには、国際的な共同研究ネットワークを強固なものにし、研究成果を世界に発信していくことが必須です。材料科学と情報科学の研究特区として設置したフロンティア研究院では、海外の著名大学・機関から研究ユニット毎に外国人教員を採用して研究・教育に従事させています。また、若手教員の積極的な採用と育成にも力を注ぎ、若手研究者在外研究員制度もスタートしました。こうした取り組みは本学の研究力の国際的な展開に大きく寄与するものです。研究のグローバル展開と産学官連携研究の両輪を力強く回すことで、世界から知を集め、産業界との共創により新しい価値を創造して世界に発信する。これこそが名古屋工業大学がめざす「工学

のイノベーションハブ」です。

男女共同参画推進センターは設置から3年目に入り、様々な取り組みにより女性研究者の増加や活性化につながっています。また、将来の研究者・技術者を育成するため、女子学生の獲得や育成にも力を注いでいます。昨年の子学生の入学者数比率は17.4%にのぼり、国立大学工学部のなかではトップです。中国をはじめベトナム、マレーシア、インド、中東、アフリカなど様々な国からの留学生も少しずつではありますが増大し、今、約320名が日々勉学に勤しんでいます。今年、大学の南に隣接する旧公務員宿舎の跡地を整備して、留学生と日本人学生との混住型宿舎を建設する予定です。女性教員、女子学生、外国人留学生のみならず、外国人教員、企業型教員、社会人学生など、多様な人材が協働するキャンパスをめざしたダイバーシティ環境の整備に力を注いでまいります。

今年も、様々な機会を設けて同窓生の皆様に母校を振り返って頂く機会を設けてまいります。名古屋工業会会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様によって良き一年となりますことを心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



記念講演 ロアルド・ホフマン氏



研究者紹介

個々の時代から組織連携による共同研究へ

名古屋工業大学 産学官連携センター長
教授 江龍 修

名古屋工業大学の強みは、ソーシャルな視点から技術を価値化できる構成員層の厚さにあります。加えて、中京圏のものづくり企業の皆様に望まれ鍛えて頂ける環境にあることは、自らの強みをアピールできるだけでなく、自らが望む「ニーズ」を顕在化出来ることにあります。ここに基礎研究を市場展開に速やかに移行する重要な思考があると考えます。即ち、要素技術をシーズとし、それを核として商品展開をするコアコンピタンス戦術に加えて、自社の「ニーズ」を顕在化させて頂くことによって、組織連携の開発の加速化が期待できます。

大学研究者にとっては「ニーズ」はオープンに出来るものですが、企業にとっては次世代の「飯のタネ」に直結する可能性があり、容易に意見交換できるものではありません。そこには相互の信頼関係が最も重要であることは言うまでもありません。工業会の皆様におかれましては、どうぞ母校をご信頼頂き、お互いの強みを理解し、更に、お互いのニーズを技術に高め、それを共創する関係パートナーとして、名古屋工業大学をご活用ください。

産学官連携は、大学研究者の技術によって企業の開発を促進することのみが目的では無いと考えます。本学の設立の理念である「活きた教育と活きた研究を通じて社会の活きた課題」に取り組み続けることは、地域社会と共に自ら気づき、自らを育て続けることが出来る、自勝力に満ちた人材育成に繋がります。また、名古屋工業大学には、企業のコアコンピタンスを深堀し、潜在的能力を引き出すフレームワークがあります。それを活用し、複数企業横断型の新規開発案件創造事業も展開しています。大学人のみならず企業内人材育成にも努めています。

名工大には工学の多くの分野の、基礎から応用までカバーする研究者がおります。従来の企業との共同研究のスタイルは、企業と教員が1対1で、企業から持ち込まれた研究テーマに取り組むことでした。そのスタイルは今後もありますが、一方で、飛躍的なイノベーションを起こしていくためには、新規のコア技術開発に挑戦する企業と、「共創」の意識を持つ研究者の横断的なグループで智慧のパッケージを構成し、企業と組織的共同研究に取り組んでいく仕掛け創りに取り組み始めています。これから我が国で開発されていく技術は、我が国のみならず、世界の資産となっていきます。要素技術開発に留まらず、学術技術の社会還元性を担保する仕組みを構築し、社会との繋がりを益々強固にし、機能価値重視から人間の根源に価値を持つ社会づくりの場と成長できるよう、産学官連携の仕組みを活かしていくよう努めて参ります。多くの企業の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

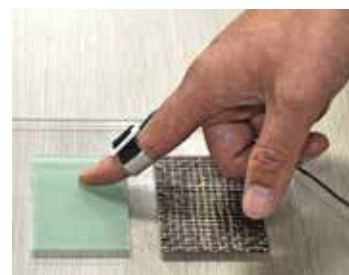
最新の触覚研究を活用して、 人に優しい技術の開発を

研究者：名古屋工業大学大学院 工学研究科 機能工学専攻 田中 由浩 准教授
特許：特願2014-171878

「しっとり」「ザラザラ」といった手触りを、言葉ではなく体で感じられるように、「触覚」を情報化したり、再現する技術の開発に取り組む田中由浩准教授。視覚や聴覚と異なり、主観の度合いが大きい触覚は再現が難しく、未開拓で新しい価値に繋がる技術として注目されている。これまで見えなかった触覚情報がデジタルで取り扱えるようになることで、言語を超えたコミュニケーションが実現し、医療や産業などさまざまな分野で応用や活用が期待される。

▶ 指の触覚を数値化

人はなぜ「さらさら」「ザラザラ」「ゴワゴワ」など触覚の違いを感じることができるのか。こうした触覚の違いは、皮膚が物に触れた際の振動の違いがもたらしている。このように皮膚で起きている振動を計測し、物を触ったときの主観的な触覚を数値化できる新しい技術を開発している。振動を読み取るセンサーは、絆創膏のように薄くしなやかな素材。伸び縮みすると微弱な電圧が生じる高分子圧電体の一種P V D F（ポリフッ化ビニリデン）のフィルムだ。ベルト状になっているセンサーを、指の第一関節と第二関節の間に巻き付ける。センサーを装着した指の先で物を触ると、フィルムの伸び縮みによって電圧が発生し、その電圧をデジタル信号に変えることで皮膚の振動データが取得できる仕組み。センサーから得た皮膚の振動の情報をバイブレーターのような「振動子」で再現し、触覚を他者と共有できる。実験では、隣に座った人物にセンサーを巻いた指で、布、金網といった素材見本をなでてもらうと、手にした振動子に、それぞれ異なった感触が伝わってきた。布だとさほどははっきりした感触ではないが、金網だと「ごつごつ」といった具合だ。触覚の再現は、例えば医療のリハビリ分野などでの活用が期待されている。脳梗塞などで感覚が鈍くなった手にセンサーを装着し、反対の手に振動子を持って触覚を体感することで、本来の感覚が呼び覚まされ、リハビリに効果をもたらす可能性がある。触覚を計測して数値化できるため、モノづくりの現場で検査などにも生かせそうだ。



ベルトタイプの皮膚振動センサー

▶ 腹腔鏡で「触診」

内視鏡での手術はカメラからの視覚情報が頼りだが、もし触診ができれば、治療のレベルを格段に向上させられる。こうした発想から、現在、腹腔鏡での手術中に早期胃がんの位置を確かめるための触診システムを他大学医学部と共同で開発中だ。腹腔鏡での早期胃がんの手術は、胃の外側から切除を行う必要があるが、胃の内側にあるがんは外側からは見えない。このシステムの狙いは、胃の外壁を触って、がんのしこりを感じ取り、正確ながんの位置を把握することにある。右手に細い棒状の「触覚センサー」を持って、胃に見立てた模型を実際になぞってみる。模擬胃のしこりの部分に來ると、「触覚ディスプレイ」と呼ぶ装置に載せていた左の手の平に「ぼこん」と軽い衝撃を感じた。しこりの位置をなぞったセンサーが感知した弾力の違いをディスプレイが出力したためだ。しこりという触感の違いによって正確ながんの位置を把握することで、切除の範囲を小さくし、患者の負担を軽くできると期待されている。



腹腔鏡下触診システム

安価で天然ペプチドに匹敵する新規抗菌物質 細菌の耐性に有効な抗菌オリゴ糖

研究者：名古屋工業大学大学院 工学研究科 生命・応用化学専攻 山村 初雄 教授
特許：特願2016-178594 特開2014-111562

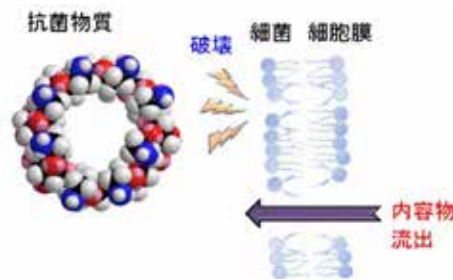
- ＜特徴＞ ① 抗菌性が高く、細菌の耐性が生じにくい抗菌物質
② からだにも環境にも優しい「糖」が原料
③ 安価な原稿とシンプルな製造プロセスで効率的に製造可能

▶細菌膜を傷害するオリゴ糖の可能性

抗菌剤について、「殺菌作用が次第に効きにくくなる。」ということがよくある。その多くの原因が、細菌の耐性獲得である。つまり、細菌が生命を維持するために、抗菌物質に対して耐性を持つということだ。この問題に対して光を当てたのが、山村教授の細菌膜傷害オリゴ糖の研究である。この細菌膜傷害オリゴ糖は、天然ペプチドに匹敵する抗菌性を有し、細菌の耐性が生じにくいという特徴がある。また、糖をベースにしているため、からだにも環境に優しい物質になる。さらにうれしいのが、原料が安価で製造プロセスも容易であるため、効率的に製造できるのである。工業・衛生用途から医療・医薬品用途まで、幅広い分野で活用が期待できそうだ。

▶抗菌ペプチドの特徴に注目

細菌の耐性に対応できる新規抗菌物質を製造するうえで、まず教授が着眼したのが、抗菌ペプチドの構造と抗菌メカニズムである。抗菌ペプチドは、細菌膜を傷害して細菌の重要成分である膜脂質に作用するため、薬剤耐性が起こり難い。つまり、耐性菌には非常に有効な抗菌物質になる。しかしながら問題点として、溶血性があることや、製造・改造が困難であることが挙げられた。そこで、教授はこの抗菌ペプチドの長所と問題点を踏まえ、ペプチドの抗菌官能基を他の分子に簡便に合成できる新規抗菌薬の設計に着手した。抗菌薬の原料とし選定したのは、食品、医薬品に使用されているオリゴ糖である。オリゴ糖は糖質で、それ自体には抗菌性はないが、長年の研究経験から抗菌性を発現させられると考えた。そして任意の構造を合成する方法を確立し、ペプチド同様の、細菌の膜脂質に作用する細菌膜傷害オリゴ糖の製造に成功した。



細菌の膜を破壊する抗菌物質のイメージ

▶幅広い活用用途

細菌膜傷害オリゴ糖の活用用途は、①雑菌に対する消毒薬・洗浄剤・噴霧剤、②品質劣化を防ぐ防腐剤、③材料・製品の表面加工剤、さらには、④医療・医薬品用途として、一般細菌用感染症治療薬や多剤耐性菌用感染症治療薬等が考えられる。糖が原料で、からだにも環境にも優しい点は、それだけでもPR効果は高そうだ。この画期的な抗菌オリゴ糖を活用し、自社の製品の価値をさらに向上させる方法を是非検討して頂きたい。

お問い合わせ先 国立大学法人名古屋工業大学 産学官連携センター

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp

URL: <http://tic.web.nitech.ac.jp>



学生コーナー

海外インターンシップ： ランボルギーニACSLでの体験談

記：伊藤 健太郎（社会工学専攻1年）

■インターンシップ概要

ランボルギーニACSLはCFRP技術とBIW概念の開発を主な事業内容とし、特にForged Composite技術に優れている。所在地はアメリカ合衆国ワシントン州シアトルである。参加期間は2016.9/5から2016.9/28の約1か月間。滞在先は2家族へのホームステイを利用した。参加条件はCADスキルが必要であった。私はCAD初心者であったがインターンシップに参加するため、本学の中村隆教授に特別授業をお願いし、短期間でCADスキルを習得した。今回のインターンシップの目的は、先端のCFRP技術の体験、異国の地で就業体験することで来年の就職活動に向け、日本人の働き方やこれまでの自分の価値観を客観視すること、そして名工大とランボルギーニACSLの関係性の向上であった。両者は2013年より提携していたが名工大からの学生派遣は私が最初であり重要な位置付けであった。



P.フェラボリACSLディレクター

■研修内容

研修内容は素材の準備からCFRP成形、強度実験や評価、サンプル品の研磨や仕上げのグロス塗り、在庫管理などランボルギーニ車を作る上で必要なプロセスの一連の流れを経験した。素材の知識や実験手法、評価方法、またプレス機やオートクレーヴ、ウォータージェット機などの設備の使用方法も体験した。特にCFRP成形では、ランボルギーニが得意とするForged composite成形と従来の成型方法であるAutoclave成形の両方を実際に体験することで、前者の長所である時間効率や生産性の優位性を肌で感じる事ができた。実験の際には実験条件や設備の環境設定に細心の注意を払っており、自分の実験において参考になる要素がたくさんあった。また、在庫管理の面では名工大で学んだトヨタ生産方式の知識を活用し、現場や倉庫の環境を改善し働きやすい場を提供することで彼らの評価を得ることができた。そして業務の際は英語でのコミュニケーションが必須であったため日常会話だけでなくビジネスレベルでの英語スキルの必要性を痛感した。

■ホームステイでの体験

本学の小竹暢隆教授の紹介を頂き、滞在先をビジネスホテルではなくホームステイにすることで、英語でのコミュニケーション力向上やアメリカ人の日常生活、考え方などにも触れることができ、プライベート面も非常に充実させることができた。彼らとの会話の中では、ビジネスにおける日本市場とアメリカ市場の違いを議論したり、英語の正しい使い方や、発音などをとても親切に教えて頂いたりした。お互い時間が

ある時は、ホームパーティーに呼んでもらったり、DVDと一緒に観賞したりした。彼らの暮らし方を見ているとこれまで私がイメージしていた暮らし方とは別の価値観を見出すことができ、将来を考えるうえで非常に貴重な経験であった。



ホストファミリー

■その他

休日には社会見学で、ボーイング社工場見学ツアーに参加し飛行機組み立てラインを見学した。日本の部品が飛行機のどの部分で使われているかを学んだと同時に、MRJなど日本企業の奮起を期待する気持ちが湧いた。航空機博物館では航空宇宙産業100年間の歴史や第二次世界大戦時の各国の航空機技術を学んだ。

また、現地の学生と知り合いワシントン大学を紹介して貰ったり、街を散策し一緒に食事をしながら日本とアメリカの文化の違いや趣味の話で盛り上がりたりした。また、日本で国際免許を取得しておいたのも、大自然を背景にアメリカの広大な道路を快走し世界遺産巡りをし



現地の学生とドライブ

た。日本とは違った広大な土地、自然の偉大さを感じることができた。シアトルから比較的行きやすいバンクーバーやポートランドにも足を運び異なる土地での文化も体験することができた。

■今後の可能性

個人としては、インターンシップを通して現在注目を集めているCFRPの素材特徴、実験方法、評価、機器の扱い方などを学ぶことができた。アメリカの文化を学ぶことで、これまでの自分の考え方を客観視でき、今後の人生設計に新たな視点を取り入れることができた。私の提案した現場改善案や働き方が評価されたことからわかるように、労働力として貢献することで彼らに時間的余裕を提供することができた。以上より、来年以降もインターンシップを始めとしたランボルギーニASCLとの良好な関係を名工大には続けて欲しい。

インターンシップ修了証明書
Certificate of Internship Completion

以下のとおり、インターンシップ（学外実習）を修了したことを証明いたします。
This is to certify that the internship has been completed as follows.

(監督証明者) 所属・職・氏名 (Certifier/Supervisor) Position/Name	(Organization/Company) LAMBERTINI ASCL (Title/Position) PRESIDENT (Name) PAOLO FERRIOLI サインまたは印 (Signature or seal)
記入年月日 Date of issue	2016年9月28日 (Year Month Day)
実習者氏名 Name of intern	KENTARO ITO
実習期間 Period of internship	期間: 2016年7月5日～2016年7月28日 Period: From (Year/Month/Day) to (Year/Month/Day)

インターンシップ修了証明書

注) CFRP：炭素繊維複合材料

BIW：Body-in-white

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2016/10/21	知多版 朝	18	北川啓介	建築・デザイン工学科	長屋再生へ若い知恵を 大学5研究室 半田・亀崎地区コンペ
2016/10/22	朝	7	市之瀬敏勝	建築・デザイン工学科	東建広告 進化し続ける東建の工業化住宅 名古屋工業大学と共同開発
2016/10/24	WEB	／	徳田恵一	情報工学科	本人そっくり 音声合成自在 三波春夫さんを再現、ネットで称賛
2016/10/24	中日 プラス	／	徳田恵一	情報工学科	本人そっくり 音声合成自在 三波春夫さんを再現、ネットで称賛
2016/10/24	夕	1	徳田恵一	情報工学科	本人そっくり 音声合成自在 三波春夫さんを再現、ネットで称賛
2016/10/25	朝	19	名古屋工業大学	—	◇弓道 東海学生リーグ
2016/10/29	朝	4	市之瀬敏勝	建築・デザイン工学科	東建広告 進化し続ける東建の工業化住宅 名古屋工業大学と共同開発
2016/10/30	朝	24	名古屋工業大学	—	次世代家電のアイデア紹介 メッセラボ発表会
2016/10/31	朝	10	名古屋工業大学	—	東海学制リーグ ◇弓道 ポート ◇中部学生新人競潜
2016/11/3	朝	4	佐治 学 梅野正義	名誉教授 名誉教授	秋の叙勲・受章者 瑞宝中綬章
2016/11/3	朝	20	ロアルド・ホフマン	—	ノーベル賞 米教授、名工大講演 ユダヤ迫害 自作戯曲上演へ
2016/11/3	朝	21	秀島栄三	建築・デザイン工学科	大災害時、住民サービス継続計画 市町村、策定は半数程度
2016/11/5	朝	20	鉄道サークル	—	生徒や学生作の模型展示 ぎふ鉄道博物館
2016/11/5	WEB	／	鉄道サークル	—	生徒や学生作の模型展示「ぎふ鉄道博物館」:鉄道まるっと切り抜き帳:中日新聞
2016/11/6	朝	27	ロアルド・ホフマン	—	戯曲「これはあなたのもの」名工大生ら舞台公演
2016/11/8	朝	16	ヨナラジ・マーティン	在学生	日本の高度な技術 実感 小牧 アジア人留学生が工場見学
2016/11/8	尾張版 朝	21	田中佐知男	卒業生(Y61)	絵筆で癒やし 願いは咲いた 画家田中さん 故郷・一宮で初個展
2016/11/10	西三河 朝	／	名古屋工業大学	—	ミニみに情報「にしんハイスchoolものづくりコンテスト」(西尾信用金庫主催)
2016/11/14	朝	2	小坂喬峰	卒業生(A62)	小坂氏初当選 恵那市長選
2016/11/15	朝	20	八幡貴紀	在学生	技繰り出して熱戦 名古屋 日本拳法中部総合大会
2016/11/16	朝	21	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	市民主体 栄ミナミPR まちづくり会社設立
2016/11/17	東濃版 朝	20	名古屋工業大学	—	中山道東濃駅伝出場チーム(上)
2016/11/17	WEB	／	久保俊晴	電気・機械工学科	計測分析に関する講演会の参加者を募集します 「工業材料の表面分析」
2016/11/18	東濃版 朝	4	名古屋工業大学	—	岸和郎氏が建築語る 名工大で講演
2016/11/19	WEB	／	麓 和善	建築・デザイン工学科	「木造」見通せず窮余策 名古屋城に耐震警告看板
2016/11/21	朝	10	名古屋工業大学	—	◇アメリカンフットボール 東海学生リーグ 入れ替え戦
2016/11/28	朝	15	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	芦原温泉駅周辺 「新しいまち」へ一票 活性化案など市民が投票
2016/11/28	WEB	／	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	西口に100畳座敷や足湯 計画反映へ市民投票で選出
2016/11/29	朝	4	鵜飼裕之 内匠 逸 春日敏宏	学長 理事 副学長	中日産業技術賞
2016/11/29	西三河 朝	18	名古屋工業大学	—	西三河のカイシャ 100年企業 西尾信用金庫(西尾市) 堅実経営 地元を活性化
2016/11/29	豊田版 朝	18	名古屋工業大学	—	西三河のカイシャ 100年企業 西尾信用金庫(西尾市) 堅実経営 地元を活性化
2016/11/30	朝	7	佐野明人	機械工学科	売り子の「脚」ばねでお助け 今仙電機・名工大開発の支援機
2016/11/30	朝	10	産学連携センター	—	【広告】名工大・三重大が保有する技術情報をHPで公開 名古屋工業大学産学連携センター
2016/11/30	WEB	／	佐野明人	機械工学科	売り子の「脚」ばねでお助け 今仙電機・名工大開発の支援機
2016/12/2	朝	12	産学連携センター	—	【広告】名工大・三重大が保有する技術情報をHPで公開 名古屋工業大学産学連携センター
2016/12/3	朝	20	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	名古屋の未来考える 青年会議所、講演や提言
2016/12/7	なごや東 朝	20	佐野明人	機械工学科	けいざいファイル 名工大など開発の歩行支援機 明治村で展示と試着会
2016/12/7	近郊総合 朝	21	佐野明人	機械工学科	けいざいファイル 名工大など開発の歩行支援機 明治村で展示と試着会
2016/12/7	尾張版 朝	21	佐野明人	機械工学科	けいざい尾張 名工大など開発の歩行支援機 明治村で展示と試着会
2016/12/10	朝	20	伊藤孝紀 秀島栄三 伊藤孝行	建築・デザイン工学科 建築・デザイン工学科 情報工学科	名古屋の魅力向上 大討論会 12～27日、ネットで

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2016/9/20	朝	2	大塚孝信	情報工学専攻	「研究現場発」未来を予測する社会システム 「知的 IoTシステム」による社会支援
2016/10/25	朝	3	石井大佑	生命・応用化学科	「研究現場発」生物表面をヒントにした省エネ新指針 構造の力で液体を輸送
2016/11/16	朝	3	高須昭則	生命・応用化学科	「研究現場発」高須昭則／高分子微粒子を用いた電着革命／全工程を同時に夢の省エネ塗装

平成28年度 東京支部総会レポート

平成28年11月26日(土) 14:30から東京の中野サンプラザにおいて東京支部総会が開催され、141名の卒業生が参加した。大学および工業会から、鵜飼裕之学長(F52)、森秀樹教授(D52)、北村憲彦教授(M56)、水嶋敏夫理事長(M42)、内藤克己常務理事(A43)の皆様にご来賓としてご列席いただくとともに、ご講演者として(株)NTTドコモの取締役相談役の加藤薫様(Es50)にご参加いただいた。

支部総会は、「総会」、「講演会」、「懇親会」の3部構成のプログラムにしたがって進められた。

「総会」は、榎尾恒次東京支部長(C48)の挨拶から始まり、続いてご来賓の鵜飼学長と水嶋理事長よりご挨拶をいただいた。鵜飼学長からは、名工大の現況をご紹介いただき、名工大がめざす教育と研究についてお話しいただいた。また、水嶋理事長からは、工業会の最近の活動状況についてお話しいただいた。最後に榎尾支部長より、東京支部の会務報告、会計報告および会計監査報告を行った。



鵜飼学長



水嶋理事長

「講演会」は、(株)NTTドコモの加藤様に、「いつか、あたりまえになることを。」と題してご講演いただいた。加藤様は、平成24年から28年までの4年間はNTTドコモの代表取締役社長としてご活躍されており、携帯電話と関連技術の変遷および今後の技術動向についてお話しいただいた。技術の変遷については、具体的な数字を挙げてご説明いただき、改めて携帯電話関連の

技術進歩の激しさに驚かされるばかりであった。また、業界リーディングカンパニーのトップとしてご活躍された社長時代には、次々と将来を見据えたサービス提供を実施されており、今後期待される5G携帯の将来の姿も垣間見させていただいた。加藤様の軽妙でかつ説得力のある話しぶりについ引き込まれてしまい、あっという間の1時間であった。



NTTドコモ加藤取締役相談役

「懇親会」は、森本晃一副支部長(Es43)の乾杯の音頭で始まり、参加者の皆様には、ご来賓、旧友、先輩あるいは後輩各位と賑やかにご歓談いただいた。ご歓談の合間の催し物として、「名工大の今昔!」と題して、昔の工大祭(仮想行列)の写真スライドや、現在の名工大ホームページのトピックス動画を映写した他、ロボコンへの支援活動状況の報告と、ソーラーカー部の活躍の様子が紹介された。楽団OBと団友による弦楽演奏を楽しんだ後、90歳以上の大先輩、3氏に登壇していただき、益々お元気な生活ぶりをご披露いただいた。続いて参加者全員で校歌を斉唱した後、平成二桁卒の卒業生の音頭により万歳を三唱し、若いエネルギーを分けていただいた。懇親会の最後は、今年度初めて「全員での集合写真の撮影」にトライした。全員が笑顔の写真を撮り終えてホッとしたところで、今年度の総会の閉会を迎えた。来年度の総会での再会を約束してお開きとなった。

記：刑部 道博(D54)



平成28年度 名古屋支部見学研修会のご報告

去る平成28年10月29日(土)、名古屋支部恒例の見学研修会を開催しました。旅程はまず午前中に郡上市の古今伝授の里フィールドミュージアムの見学、その後ホテル積翠園で昼食を取り、城下町の散策、長良川鉄道で郡上八幡駅から関駅まで移動し、関善光寺を参拝に訪れるというものでした。支部の会員および御家族の皆様で総勢約80名の参加者があり、大変に賑やかな会となりました。

始めに訪れた古今伝授の里フィールドミュージアムは長良川支流・栗巣川に沿って作られており、鎌倉時代から戦国時代初期にこの地を治めた東氏の拠点が置かれた地域にあります。

様々な施設で構成されており、施設の方から丁寧な説明して頂きました。施設の中には東氏館跡から出土した品々を展示する東氏記念館(写真1)も見学しました。紅葉にはまだ早かったのですが、落ち着いた雰囲気のある場所であり、また機会があれば来てみたいと思いました。その後、郡上八幡城の中腹に位置するホテル積翠園(写真2)に場所を移し、加川支部長のご挨拶の後乾杯の合図(写真3)で昼食を頂きました。約2時間の滞在で、その間温泉への入浴も可能でしたが、昼食での歓談が盛り上がり、あまり入浴されている方がいないようでした。



写真1. 東氏記念館内



写真3. 加川支部長挨拶（昼食会場全景）



写真2. ホテル積翠園前（集合写真）

食事後は、郡上おどりで有名な古い町並みの城下町でのお買い物や散策を楽しみました(写真4)。旅程には含まれていませんでしたが、昼食後に城下町の散策はせずにそのまま郡上八幡城まで行かれた健脚の方々も見えられました。ちなみに郡上八幡城は最近では、所謂「天空の城」としても知名度があがりつつあり、1933年に当時はまだ国宝であった大垣城を参考に再建された現存する日本最古の木造再建城とことです。余談ですが、もし名古屋城が木造再建されれば日本最新の木造再建城となるのかもしれませんが。そのあたりは将来の楽しみといったところでしょうか。



写真4. やなか水のこみち

城下町散策後は長良川鉄道に乗車し郡上八幡駅から関駅まで約1時間の長良川鉄道の旅(写真5)を楽しみました。長良川鉄道は一般乗車だったので一部で立ったままでの移動された方もいましたが、2両編成だったので大部分の方は座席に座ることが出来たのは幸いでした。最



写真5. 長良川鉄道

後の訪問地、関善光寺は昨年のラグビーワールドカップで有名になった五郎丸選手がキックの際に行っているルーティーン、所謂“五郎丸のポーズ”で有名になった大日如来像(写真6)が安置されていることで有名になったお寺です。参拝時間が遅かったのですが、光鯨会のOBの紹介で住職様から直接説明を受けることができたので非常に印象深かった訪問になりました。その後、帰路につきましたが、途中一宮JCで渋滞にかかり名古屋栄に着いたのは予定より1時間分近くの遅れとなりました。ただ、無事に帰って来られたのはご参加下さいました皆様のご協力の賜とあらためて心より感謝しております。



写真6. 関善光寺宝冠大日如来像

最後になりますが、見学研修会の集合写真を初めとしたスナップ写真を<http://fuji.web.nitech.ac.jp>に掲示してありますのでご自由にダウンロード下さい。なお、セキュリティのためIDとパスワードが必要ですが、名古屋支部庶務あるいは各単科会名古屋支部連絡幹事等に直接お問い合わせ下さい。よろしくお願いします。

記：名古屋支部庶務 栗田典明(K60)

平成28年 大阪支部「秋季歴史探訪の会」開催報告

(旧海軍の一大拠点で引揚港でもあった舞鶴の今を探訪)

今回の探訪行は、戦前は日本海側で最大の軍港として鎮守府がおかれ、終戦後は大陸から多くの引揚者を迎えたゆかりの地「舞鶴」を訪ねました。去年10月22日(土)、バスにて大阪を出発し舞鶴若狭自動車道を経て現地に。今回もご夫婦でのご参加が多く、総勢34名中9組18名の華やかな一行となりました。

舞鶴東ICを出てまず最初の訪問先「舞鶴引揚記念館」へ。ここで現地ガイドさんとドッキング。当館は舞鶴港が政府の指定した引揚港の一つとして、終戦直後から昭和33年の長きにわたって中国大陸やシベリアから66万人もの引揚者を迎え入れてきた史実を展示すべく、日本全国からの寄付を受けて舞鶴市が設立したものです。特に昭和25年以降は日本唯一の引揚港として、主に極寒の地シベリアからの引揚にまつわる種々貴重な展示が一昨年ユネスコの世界記憶遺産に登録されました。その展示の数々を目にし、耳にして一同大いに心打たれるものがありました。引き続き近くにある実際に引揚者を迎え入れた地に復元された「平引揚棧橋」に向かった。木製の質素な棧橋ではあるが、ここに多くの人々が祖国への第一歩を踏み出されたかと思うと、感無量のものがあつた。この引揚棧橋でのエピソードとして、引揚船が着く度に息子や夫の姿を求めて足を運んだ母や妻の姿は、昭和の名曲「岸壁の母」となって後世に伝わっていますが、戦中派の一人として平和な今の有難さをつくづくとかみしめたものでした。

昼食後、「海軍ゆかりの港めぐり」の遊覧船に乗り、船上でガイドさんの説明を聞きながら停泊中の護衛艦の数々や造船所など海軍ゆかりのスポットをめぐったが、さすがかつて鎮守府のおかれた軍港らしく今もいろいろな訓練設備や機能が整っていることを認識させられた。上陸後、港近くにあるレトロな雰囲気一杯の「赤れんがパーク」を散策。これらは明治時代に軍用倉庫として建てられ中には重要文化財に指定されているものもあるというが、カフェやれんがの歴史を展示する施設もあり、当日は「赤れんがまつり」として一般に開放され大勢の人々で

賑わっていた。その後、日本海側では唯一という海上自衛隊の基地「北吸自衛隊棧橋」の見学に向かった。棧橋の入り口につくとずらりと停泊している新鋭の護衛艦の数々にまず圧倒された。事前申し込みをしていたので人数のチェックを受けて棧橋の中へ。棧橋の端から端まで見て回ったが、随行のガイドさんいわく「8年間ガイドをやってきたがこんなに端から端まで見て回るグループは初めて」とのこと。さすが理系の元工大生、興味の赴くままに見て回ったことでした。各艦とも大きさもさることながら、搭載しているミサイル発射装置やロケット砲などいかにも中身が充実していることが素人目にも感じられたことであつた。間近に見る護衛艦の数々は非日常の風景ではあるが、日本海を睨む守りの要として大いに心強く、これこそ必見のスポットであることを実感しました。この後、再び車上の人となり、「五老スカイタワー」へ。ここは“軍港の町”東舞鶴と“城下町”である西舞鶴の間にそびえる五老ヶ岳山頂にある海拔325メートルの展望台で、湾口が狭く中が複雑に入り組んだ天然の良港である舞鶴湾や市街地が一望にできる展望は近畿百景の一位に選ばれたのもっともと思われる絶景であつた。訪問の最後は日本海の幸を求めて、道の駅「舞鶴港とれとれセンター」に立ちよってお土産をゲットし、“海の京都”ともいわれる舞鶴を見尽くした満足感を胸に帰阪の途に就きました。

記：藤原 康宏(E36)



平成28年度 愛媛支部総会、懇親会のご報告

愛媛支部の平成28年度支部総会及び愛媛支部在住卒業生懇親会を、平成28年12月3日(土)、午前11時10分からホテルJALシティ松山2階の日本料亭「さわふく」に於いて開催しました。

平成24年に再スタートしてから5回目の総会となり、本部から水嶋理事長を来賓に迎え、愛媛県内からは初参加の若手2名を加えて9名が集まりました。

今回はC58馬越様の紹介で、SC⑭本庄様、CM②舘井様が初参加となり、若手メンバーの増加と初の女性参加ということで例年よりも盛り上がりました。

水嶋理事長からの本学近況報告、愛媛支部事務局のD⑭浜田からオリジナルタオル制作計画等の連絡事項を一通り終えた後は、メンバーの過半数が土木出身のため自然と土木の話題が出てきました。橋やトンネルやダム等の身近な技術の話で全員が盛り上がりました。

その後自己紹介や近況報告等で楽しい時間を過ごしました。最後は最近話題となっている過重労働の話となり、過去に多くの激務を経験していた先輩方からのためになるお話を拝聴したところで解散となりました。

記：浜田 裕介(D⑭)



上左側より
C58 馬越 D54 本宮 B63 井川 F59 吉良 D⑭浜田
下左側より
SC⑭本庄 CM②舘井 M42 水嶋 C39 林原 C43 千羽
(本部理事長) (愛媛支部長)
(敬称略)

28年度名古屋三河支部ミニ総会&親睦ゴルフ大会報告

さる平成28年10月15日(土)に岐阜県瑞浪市のベルフラワーカントリー倶楽部にて総勢15名に参加いただき開催しましたので報告させていただきます。当日は前後雨の日に挟まれた晴れという絶好の天気恵まれて、お互いに日ごろの行いの良さを称え合いながらスタートしました。

結果は、伊藤嘉規氏(D62)がパーティに恵まれ(ご本人談)ネット73(グロス91)で昨年に引き続き優勝、2位は初参加の小西雄三氏(MA56) 73.6(88)、3位は都筑登氏(E29) 74.4(90)、ベスグロは佐藤章雄氏(F52)(85)となりました。

なお、最年長(84歳)都筑氏は昨年の4位から更なる上位入賞を果たされ、都筑氏の益々のお元気に一同感服する次第でした。

ホールアウト後は表彰式に合わせてミニ総会を開催し、名古屋工業会の事業および計画の報告や三河支部の活動報告、会員入会の薦めなどを参加者へ連絡させていただきました。

今回、参加頂いた皆様の多大なるご協力のもと楽しい会とできたことを、紙面上ではありますが心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

記：大野 一成(Zk5)



平成28年度 静岡支部定期総会ほか報告

静岡支部総会は、9月3日(土)(14時から18時30分)、残暑厳しい折、静岡市内のクーポール会館において会員25名の参加を得て開催されました。

来賓として一般社団法人名古屋工業会から水嶋敏夫理事長(M42)、国立大学法人名古屋工業大学から鶴飼裕之学長(F52)にお越しいただきました。

総会は、山之上誠支部長(C49)の挨拶に始まり、平成27年度活動報告、決算報告を全会一致で承認いただき、平成28年度活動報告ならびに予算案も承認されました。

まだ、任期途中ですが支部役員(幹事1名)の交代人事案も了承されました。

引きつづき講演会では山田学教授(名古屋工業大学 大学院工学研究科 電気・機械工学専攻)により「2輪型飛行ロボット(ドローン)の開発と応用」と題して90分間ご講演いただきました。空・陸・水飛行可能な万能飛行ロボットは、様々な分野で応用の可能性が広がるという特徴をもつホットな話題を拝聴しました。講演終了後、多くの質問が出たことは、会員諸氏の興味を引くものだったことを裏付けしていました。懇親会は、会場を替え、約2時間和やかな中で行われました。

当支部は、東海地区でありながら総会、テクノフォーラムなどの定期行事への出席者が固定化し、さらに東部地区からの参加者が減少傾向にあること、また支部役員の若返りに対しても課題はあります。

さいごに、各学科卒業生の横断的な交流の場を今後とも継続し、県内から名工大へ受験をめざす学生の発掘に役立てるように大学・工業会との連携に協力支援することも確認しました。

記：代議員 榊原 学(F48)



平成28年度 九州支部例会の開催報告

平成28年度の九州支部例会は、秋たけなわの10月29日(土)に、北九州市小倉駅に直結するステーションホテル小倉にて開催しました。

今年も名古屋工業会本部から、理事長 水嶋敏夫 様(機械42)及び常務理事 内藤克己 様(建築43)のお二方をお迎えし、18名の同窓生が出席されました。以下、式次第に従って概要を報告します。

まず、出席者全員による記念撮影、北九州地区担当の中松幹事による開会のことば、喜多村支部長の挨拶に続いて、水嶋理事長にご挨拶をいただき、工業会や大学の近況についての詳しいお話をお伺いすることができました。

その後、支部長による平成27年度活動報告と会計報告及び平成28年度活動計画を諮り、出席者の拍手をもって承認されました。今回のトピックスは、本年6月、九州支部にゴルフ同好会が発足(会員12名、その後4名の参加希望あり)し、10月1日に第一回ゴルフ大会(7名参加)が開催されたことです。来年は春、秋の年2回の開催が計画されており、今後、活発な活動が期待されます。

以上の総会に引き続き、興石 様(金属32)のご発声による乾杯のもと懇親会に入りましたが、出席者全員による自己紹介と近況報告の場では、それぞれのご活躍の様子が紹介され、一同は熱心に傾聴しました。また、この場では、本部からご出席の水嶋理事長様、内藤常務理事様も参加され、出席者との交流を図っていただくことができました。

今年の例会も大いに盛り上がりましたが、会の終わりには学歌「東海の邦のほまれに」を斉唱し、福岡県小郡市から参加された吉川様(金属41)の音頭のもと万歳三唱により名古屋工業大学並びに名古屋工業会の益々の発展と同窓の皆様への健勝を祈念しつつ、来年の福岡市での再会を約して、また、九州各県からの多くの参加を期待して散会しました。

記：九州支部長 喜多村 治雄(M40)



大阪支部秋季見学会 関電、大阪ガス見学会報告

大阪支部秋の見学会は、10月13日(木)の午前中に大阪ガス工場、午後から堺港発電所の見学を行いました。参加者14名でした。

皆様ご存知のように、来年度から電気、ガス共に小売りの自由化が解禁され、各種の事業者からの購入ができるようになります。

まず、ガス工場から、ここには一般見学施設として「ガス科学館」が併設されています。教室にて、工場案内映像を鑑賞後、ガス臭の確認などの実験を行いました。その後バスで構内を見学しました。丁度インドネシアからのLNGタンカーが入港して、ガスの移送準備を行っていました。-160℃で体積を1/600にされています。これにカロリー調整をして安全のための臭いをつけて出荷されます。2018年からは米国よりシェールガスを輸入する予定です。

工場内に、出力110万KWの最新鋭発電機があり、外部に電気を販売しています。

午後は、関西電力堺港発電所に移動しました。現在、関電の発電機使用比率は、原子力0% LNG52%・石油38%・石炭10%とのこと。石油はコストが高いため、LNGへ転換中です、当所は、LNGで200万KWを発電しています。これは最新鋭でガスタービンと蒸気タービンを併用して効率の良さを誇っています。

さらに、西側の海岸には太陽光発電所があります。74万枚のシャープ製太陽パネルを使い、最大1100万KW/年を発電できます。一般家庭の3000軒分に相当します。発電所では、環境対応のための巨大設備がコンパクトにまとめられていました。

これらの施設は一般でも見学が可能ですので、現在のエネルギー事情を考えるために、ぜひ、ご覧になることをお勧めします。

記：西川 嘉一(G50)



平成28年度 尾張支部工場見学会報告

毎年実施している工場見学会を今年も開催した。今回は現役会員の要望に応じ週末でも参加可能な施設訪問となった。

訪問場所：トヨタ産業技術記念館

日時：11月12日(土)午前10時15分～12時

参加人数：総数22名(昼食21名 1名体調不良のため見学後帰宅)



昼食：12時～13時同館レストラン赤煉瓦

同館の説明・ガイド：W49卒の繊維館機械館グループシニアアドバイザー柴崎道雄氏による懇切丁寧で詳細な説明・ガイドで好評であった。

参加者の感想：トヨタ創業者達の優れた先見性・発想力、モノづくり哲学・社風、開発技術、商品開発、マーケティング力、ブランド開発、優秀な人材育成、グローバル戦略、生産方式(カンバン方式)等について理解できた。トヨタの総合力のすごさを再認識した。昼食後見学会を解散した。

希望者のみ引き続き”ノリタケの森”の諸施設を見学した。

見学施設：“ノリタケの森”ミュージアム

参加者人数：総数10名

見学時間：14時～15時半

参加者の感想：この会社もトヨタ同様長い歴史のある世界的に知名度の高い名門会社であり、時代の変化に応じて企業の多様化を図っている企業グループであることを確認して、大変有意義な時間を過ごした。

今回見学した両施設は大変貴重な歴史的遺産として永久に残してほしいと思います。

15時45分に散会した。

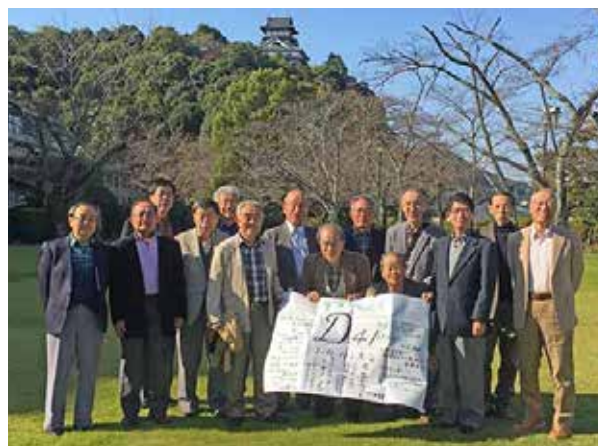
記：音無 通男(W41)

D41同窓会報告

11月3日4日、卒業50周年の同窓会を行いました。D41同窓会は毎年一泊どまりで各地で開催していますが、今回は、名工大のホームカミングデーに合わせて名古屋工業大学に集合、総勢15名、50年の歳月が経過して、まったく変わった学内に皆、感歎！！「綺麗で立派でよくなったなあ…」その後、名工大の3名の研究者による特別講演会「健康の工学」・学内見学ツアー・歓迎式典・ロアルドホフマン氏の講演・ホフマン氏原作のフィクション戯曲「これはあなたのもの」を鑑賞した後、犬山へ移動、午後6時から始まった宴会では「食べて、飲んで、笑って」恒例となった近況報告では、「皆元気いっぱい活躍の様子が手にとるようでした」2次会も場所を変え、夜の更けるのも忘れて「昔懐かしい話題や、健康の話題、孫の話題」などで盛り上がりました。次期開催を関東地方で行うことを決めました。

翌日は9時半より国宝見学ツアー、足や腰の痛い人も中にはいましたが、ホテル出発「有楽苑」にて、庭園散策、国宝茶室「如庵」を見学後、美味しい饅頭とお抹茶で「ホット一息」その後、犬山城の天守閣まで一気に上る。ガイドさんの説明によると犬山城は室町時代の1537年に築城され天主は現存する日本最古の様式といわれているそうです。急で頭を打ちそうな階段も皆無事に見学をしました。その後城下町での昼食・豆腐かふえ「浦島」にて玉手箱料理を食べ、次回又会うのを期して名鉄犬山駅で散会した。

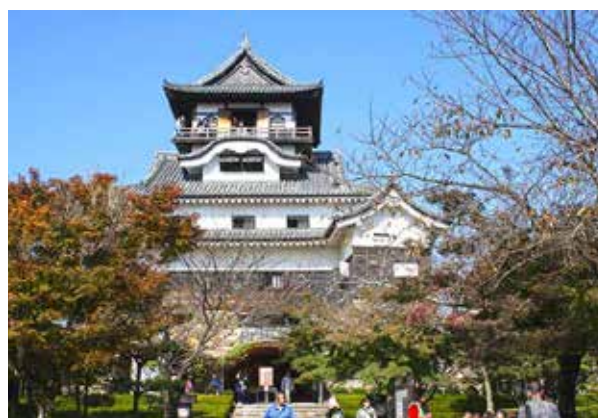
記：伊藤 豪(D41)



卒業50周年の寄せ書き



犬山城をバックに全員写真



犬山城



第24回ごきそ会展(名古屋工業大学OB美術展)2016開催

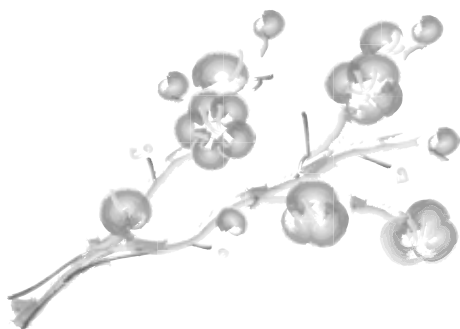
本学卒業の美術を愛好する仲間が集まり毎年名古屋で美術展を開催しております、今年は会場の改修工事の関係で例年より遅く11月15日(火)から11月20日(日)まで名古屋の伏見にある電気文化会館5階東ギャラリーで開催いたしました。今年も多数の方にご鑑賞をいただき好評のうち無事終了することが出来ました、ご来場いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

今年の出展者数は19名で昨年より2名増加し、作品点数は74点でした。新しく昭和36年(建築)卒の藤野康彦さんが加わりました。最高齢の清水昭夫さんのアクリルスプレー画や若手の野田さんの立体物が会場の雰囲気を盛り上げ、全体的に質も高いとの評価をいただきました。またケーブルテレビ局(スターキャット)の取材を受けニュースの中で会場風景が放送されました。

今年も新しい方に加わっていただきましたが高齢化が進んでいます、若い世代の方のご入会を期待しておりますので、是非絵を描いている方の情報を下記事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。

来年は節目の第25回を迎えますので、記念すべき美術展になるよう企画したいと考えております。次回は10月31日(火)から11月5日(日)まで同じ場所で開催予定です。是非沢山の方にご高覧いただきますようお願い申し上げます。

記：福田 一豊(A36)



今回の出展者名

清水 昭夫(A26)	富田憲次郎(A29)
神谷 義夫(A31)	栢本 良三(A31)
早川 茂次(A33)	本田 暎幸(D33)
清水 昭(A34)	山田 銃一(K34)
伊藤 禎治(A35)	栃尾 宗昭(A35)
脇田 芳明(A35)	福田 一豊(A36)
藤野 康彦(A36)	平川 史朗(A38)
木戸 真人(A40)	高橋 秀郎(M41)
村上 健一(M41)	吉田 昭博(M41)
野田 敏生(M 9)	

連絡先 事務局 福田 一豊
〒465-0053 名古屋市名東区極楽2-184
TEL : 052-702-1504 FAX:052=702-0097
E : mail k_fu@d2.dion.ne.jp



会場風景



写真研究部OB会 総会報告

平成28年11月27日に、写真研究部OB会総会および懇親会が名古屋市中区錦のホテル名古屋ガーデンパレスにて開催されました。

写真研究部創部当時の部員である近藤正美氏(Y28)をはじめとして総勢31名の参加でした。近藤高規会長(Y50)から、来年2017年度は3年に一度のOB写真展を開催する予定となっており、OB会員諸氏の積極的な出展を促す挨拶がありました。

引続き行われた懇親会では、島和雄氏(M33)を皮切りに、順に後の語り役をその場で指名しながら各自即興で撮影論、フィルムからデジタルの技術変遷論、ツァイスとライカの設計思想論などそれぞれの熱い想いを語り結びました。あっという間に所定の時間が終わり、来年の写真展での再会を誓って会を終わりました。

なお、来年のOB写真展の開催日と会場などは後日、決定次第OB会ホームページ(以下のURL)に掲載します。ご確認いただければ幸いです。

<http://nitpraob.jimdo.com/>

記：吉田 信人(M57)



平成28年度 NTT名工会総会開催報告

去る10月28日(金)に、恒例のNTT名工会総会を栄の名古屋国際ホテルにて、22名の参加により和やかな雰囲気で開催しました。

1. 総会

事務局より平成27年度事業報告と決算報告があり、引続き平成28年度役員選出を行い、会長のNTT西日本(株) 京都支店営業部長 田中敦氏(E63)を始め、全員が満場の拍手にて承認されました。

2. 講演会

特別講師として、母校の麓和善教授(A54：社会工学専攻 建築・デザイン分野)をお迎えし、『天下の名城 名古屋城の魅力とひみつ』と題して御講演頂きました。最近何かと話題が多い名古屋城について、城郭の分類上の位置付けや、先人・関係者のご苦労をはじめ、その「すごさ」を様々な観点からご講演頂きました。城郭・寺院等の文化財保護・保存に関する数多くの委員のご経験と、名古屋城に関する研究成果を踏まえたお話のため、興味津々かつ地元の名所への誇りも実感できたひと時でした。

3. 懇親会

水谷副会長の開会挨拶の後、NTTデータ東海の服部恵一氏(EJ⑧)の乾杯のご発声により開宴となりました。先ほどの御講演への質疑・意見交換をはじめ、公私に関わる近況報告、各職場での仕事や最近の社会情勢等、職場を越え世代を越えた話題に花が咲きました。その後、恒例の学歌「東海の邦のほまれ」を斉唱し、今回ご出席の先輩を代表して中山重典氏(C45)の暖かい締めにより、来年の再会を誓い散会としました。

記：大竹 昌志(C54)



窯業科S40年卒同級会再発足

1. きっかけ：平成27年は卒業50年が経ちましたが、同級会は10年前実施以来ゴルフ会の他なにもないので近隣の人だけでもやろうという話があり、開催しました(出席者12名)。場所は大学近くの萩ノ茶屋(馴染の池の茶屋は現在閉鎖の為)で開催しました。そこで決めたのはまた来年も、同級生の動向も知りたいので名簿づくりをやろう、もっと全国的に、という意見が出て、その準備を始めた。

2. 平成28年は名簿づくり(物故者7名・消息不明者7名・本人及び家族療養者7名・欠席者9名・出席者12名)・全国的な展開・場所は同じ「萩ノ茶屋」・10月21日開催しました。

当日は日帰りで、簡単な昼食をとり少々アルコールを加え、各自及び欠席者の近況を語り、未だ現役の方数名の活躍話には驚きました。

殆どの方は趣味・ボランティア活動でノンビリ過ごしておられるようでした。帰りは学内の見学と記念写真を撮りました。

3. 平成29年はさらに参加者の増員するために開催時期の早期連絡と消息不明者の調査を図り、この会の継続実施を図りたいと思います。

記：高橋 明夫(Y40)



50年間も続くW37会 忘年会

2016年12月5日、恒例のW37会忘年会は名古屋栄小料理屋「能代」で始まった。毎年忘年会は、山形から取り寄せた「きりたんぼ」の鍋が実に上手い。今年はこの会に岩国の故梅村英治氏の奥様からW37会香典返しとして贈られた日本最高の銘酒瀬祭大吟醸と瀬祭焼酎を皆で頂くことになり、「きりたんぼと瀬祭良く合うね」とゆっくりと学友梅村英治君を偲んだ。旭丘高校を卒業後名工大W、三菱レーヨンへ入った梅村君、真面目なイケメン学友だった。

「名工大は真面目な学生が多い」とは同席のW君、「俺の母校一橋大学はサークル活動日本一らしいが確かに俺の明和高校時代からの友人を見ていても名工大へ入った連中は実に真面目だった」とぼやく。W科は、入学する時は紡織科、卒業時は繊維工学科。入学は易しいが就職はすこぶる恵まれているという評価だった。確かに卒業生37年卒37名卒業生全員証券一部上場会社へ無試験で全員就職、全員良き人生を確保していた。

当時は日本は未だ貧しかったが、繊維業界だけは国の大黒柱、MやEの連中もうらやましがら高給取りだった。思えばW37会全員はW全盛時代を歩き続けた。ラッキー！。もうじき80代、懐かしき青春に、この夜だけはしばしノスタルジックな感動に触発されて、「瀬祭＝日本一の銘酒＝安倍首相が太鼓判」確かに上手いと全員酔いしれた。

当日集まったのは、東洋紡専務をしていた伊藤君、東レタイ社長をしていた西尾君、工場長や部長経験者計8名、しかし同期で亡くなったのは、中村君、黒川君、田村君、青山君、戸本君、板倉君、鈴木君、武藤君、斉藤君、本林君、そして梅村君と計11名(実に30%)。

N君1ヶ月前、突然脳梗塞で入院、もう少し遅かったら今頃は命も無かった話から、皆さん、俺も俺もと手術話が続く。大阪で受けた脊椎間狭窄症手術順調とI君。痛風が今も悩みなNS君。誰もが皆身体に悩みを抱えている。「来年5月のゴルフは三好で頼むよ」と全員野崎君に寄りかかる。こうして名工大卒業後50年、今も毎年飲みながらダベリング。しかし梅村君が贈ってくれた「瀬祭」は今日も特別に銘酒の味が身に浸みる。

記：西川(W37)



謹賀新年

平成29年元旦

名古屋支部

〔平成27・28年度主担当単科会:名晶会〕

支部長	加川純一	K49
副支部長	川北高生	K49
庶務会計幹事	栗田典明	K60
庶務	小坂井孝生	K49
同	横山雅行	K52
同	堀尾順一	K52
同	山中諭	K56
同	前田千芳利	K57
同	小山敏幸	K61

〔単科会 代表連絡幹事〕

C E 会	小井手秀人	C63
光 鯨 会	杉浦俊幸	A38
巴 会	杉山耕一	M⑥
電 影 会	三宅正人	E60
双 友 会	泉地正章	W44
緑 会	犬塚正憲	D48
名 窯 会	多賀茂	Y62
名 晶 会	平野春好	K50
計 測 会	米谷昭彦	F60
経 友 会	仁科健	B50
情 友 会	松尾啓志	J58

事務局 〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4
名古屋工業会内 ☎(052)731-0780

東京支部

支部長／副理事長	C48	榎尾恒次
副支部長／代議員	Es43	森本晃一
副支部長／代議員	M47	松浦明人
代表常任幹事／代議員	A63	石田交広
相談役／顧問	D33	横田章一郎
相談役／参与	E36	小田征一
相談役／参与	D41	阿部完二
相談役／参与	M43	張田吉昭
相談役／参与	Es42	平手孝士
顧問	W38	倉島俊二
顧問	E39	加藤勝英
顧問	D51	松居和治
顧問	W33	飯田秀次
顧問	D45	堀定人
顧問	K46	阪井眞人

常任幹事／代議員

D45	鈴木満雄
C55	松田和繁
K50	細谷佳弘
F52	小川一郎

常任幹事

C56	名倉健二
D54	刑部道博
D57	大久保智明
M45	小野尚純
M55	戸澤宏一
E44	井上憲太
E⑬	三浦朗
A47	平松充昭
Y40	日沖昭
W43	印藤崎弘
B50	佐藤

幹事

C44	川島泰也
C53	瀬尾卓也
D35	瀨木良亮
D38	三山敏郎
D44	岡本順一
D①	馬場彦英
E36	木下清吉
Es46	山田間賢二
M49	福一明弘
A55	北村野明
K53	波多野靖
W56	清建太郎
Y42	松永新
F45	近藤政之
B43	

北海道支部（北鯨会）

支部長 三田村 好矩（F41）

代議員 秋 山 秀 雄（Es43）

静岡支部

支部長	山之上 誠（C49）
代議員	藤井義磨（Es49）
代議員	榊原 学（F48）
事務局長	森 佑 司（A52）

静岡支部役員一同

東北支部

支部長 齋 藤 文 伸（A51）

事務局 〒982-0821 仙台市太白区松が丘3-22
☎&FAX 022-228-0685

三河支部

支部長 岩 月 幹 雄（K56）

幹 事 大 野 一 成（Zk5）

大 阪 支 部

支部長 * A46 岡崎 格郎
副支部長 E47 川越 英二
副支部長 * G52 田中 耕嗣

総務委員長 * D51 佐野 義和 同副委員長 C59 堀口 大輔
事業委員長 E47 川越 英二 同副委員長 G50 西川 嘉一
会員増強委員長 * G52 田中 耕嗣 同副委員長 B50 出口 貴通
若手・女性部委員長 C55 小西 日出幸 同副委員長 M48 筒井 真作
地方部委員長 E45 伊藤 俊明 同副委員長 B50 出口 貴通
技術士部会 M46 松永 純二 同副委員長 D41 末利 鏡意
財務委員長 G54 大貫 雅彦 同副委員長 C52 福井 広行
単科会連携委員会委員長 B50 西岡 裕 同副委員長 M58 筒井 真作
監 事 W48 奥村 茂樹

単科会支部長 C47 西川 芳久 単科会支部長 Y44 川島 謙
単科会支部長 A55 宮本 和則 単科会支部長 K48 加藤 修
単科会支部長 M45 掛田 健二 単科会支部長 F55 坂尾 健司
単科会支部長 E47 川越 英二 単科会支部長 B50 廣島 清則
単科会支部長 W40 缶 文雄 (以下役員16名は空白)
単科会支部長 G50 西川 嘉一 *は本部代議員

地方部会幹事

和歌山県 C57 東 照久 C53 向井直樹 SC⑦ 井原誉文
奈良県 G50 西川嘉一 C52 福井広行
滋賀県 A46 福永忠昭 M45 伊藤俊明
京都府 D45 西村源四郎 D45 駒田周美 M58 筒井真作

【本 部】

本部副理事長 C44 木越 正司
代議員 ※E36 藤原 康宏
代議員 ※E48 三木 敏裕

兵 庫 支 部

支部長 高瀬陽太郎 C55 兵庫県庁
副支部長 當舍良章 C③ 兵庫県庁
事務局 西川芳久 C47 神鋼環境メンテナンス
監査役 一宮誠 M61 神鋼製鋼所
顧問 秋山敏修 C33 元・兵庫県庁
幹 事 楠田好三 A50 兵庫県庁
三羽倉昭二 C⑨ 兵庫県庁
西川芳篤 C54 神戸市役所
多上村芳大 E⑬ 神鋼環境ソリューション
植田康之 M⑩ 川崎重工業
武藤崇史 EJ② 三菱電機(一般・東)
弘津健二 J63 三菱重工業
加藤恵之 K44 白鷺特殊鋼(一般・西)

【本 部】

代議員 H28年度 高瀬陽太郎 C55 兵庫県庁
同上 當舍良章 C③ 兵庫県庁
参 与 同上 楠田修三 A50 兵庫県庁

三 重 支 部

支部長 北川 貴志 (C50)

三重支部メールアドレス
Mail : miegokiso@nagoya-kogyokai.jp

尾 張 支 部

支部長 音 無 通 男 (W41)

平成29年度支部総会は名古屋文理大学
文化フォーラムで5月6日(土)に開催します。

岡 山 支 部

支部長 野村幸宣 (C54) 幹 事 岡本研作 (Y54)
代議員 小倉俊彦 (A58) 浜野弘史 (Es56)
代議員 虫明正博 (K59)
幹 事 中村浩巳 (A54) 事務局
石井敏典 (G47) 〒701-0113 倉敷市栗坂467-22
齋藤 実 (C55) 虫明産業(株)内

岐 阜 支 部

支部長 元 島 栖 二 (D40)

事務局 関 尾 光 正 (D41)

広 島 支 部

支部長 菱 川 躬 行

事務局 〒735-0015 広島県安芸郡府中町青崎東8番49号
株式会社システム総合研究所
☎ 082-284-5630

九州支部

支部例会には皆様のご出席をお待ちしております。
平成29年は10月に福岡市で行います。

支部長 喜多村治雄（機械 S40） TEL 0940-33-6114
副支部長 安達 高春（建築 S46）
事務局 永濱 伸介（経営 S63）
事務局 中松 智明（情報 修 H22）

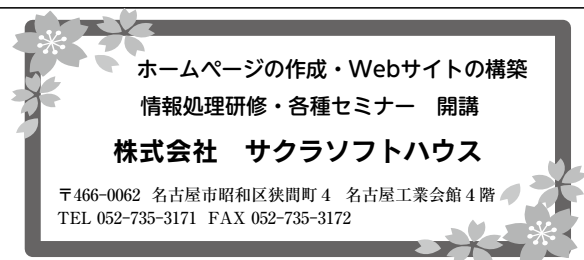
トヨタ車体株式会社

相談役 水嶋 敏夫（M42）

〒448-8666 刈谷市一里山町金山100番地
TEL (0566)36-7500
URL <http://www.toyota-body.co.jp/>

株式会社 TYK

代表取締役会長 牛 込 進（Y33）



ホームページの作成・Webサイトの構築
情報処理研修・各種セミナー 開講
株式会社 サクラソフトハウス
〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 名古屋工業会館4階
TEL 052-735-3171 FAX 052-735-3172

総合印刷の 栄光社

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地
TEL (052) 741-7701 (代)
FAX (052) 741-7703 番

UNIV. CO-OP 名古屋工業大学生協同組合

専務理事 白 取 義 之

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL (052) 731-1600 FAX (052) 731-8726
E-mail : shiratori@nitcoop.or.jp

平成29年度 一般社団法人名古屋工業会 会員総会開催予告

日 時：平成29年5月20日（土）14：00～

場 所：中日パレス 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1中日ビル5F
TEL 052-261-8851

会員総会：14：00～15：00

特別講演：15：30～16：45

懇親会：17：00～19：00

※なお、代議員による定期総会は12：30から開催します。

詳細は次号でお知らせします。

名工大ソーラーカー 世界TOP 5を目指す!

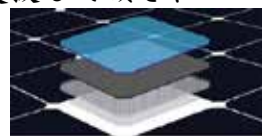
～2017年 オーストラリア大会へ参戦～



我々は2017年10月、オーストラリアにて世界最高峰のソーラーカーレース「BWSC2017 (Bridgestone World Solar Challenge2017)」に参加します。その大会で、**世界TOP5**を目指して活動しています。部活内では、電気班・機械班と専門技術を持った部員14人がお互いに技術を高め合いながら新たなソーラーカーを開発しています。

ソーラーカーの動力源はソーラーパネルです。約300枚もの高額な軽量・薄型の最高効率Siソーラーパネルがオーストラリア3000kmを完走する上での命の源になります。そこで、皆様にソーラーパネルを1枚につき1万円でご支援して頂き、

**皆様と一緒に
我々の技術と情熱を乗せて走ります!!**



ご支援いただいた皆様には、太陽電池(一部)を記念品(茶など)としてお礼いたします。ホームカミングデーにて!

ソーラーパネル1枚1万円のご支援をお願い致します

*何か不明な点がございましたらお気軽に御質問下さい

Mail : nit_s_ev@yahoo.co.jp

メールQR code→



@NIT-SolarCar



名古屋工業大学ソーラーカー部
NIT Solar Car Racing Club

振込依頼書

お振込先						お振込日(和暦) 年 月 日				
三菱東京UFJ 銀行						鶴舞 支店 (267)				
お受取人	預金科目	普通預金	口座番号	3595095	振込手数料	受取人負担				
	おなまえ	カカナ ナコヤコキョウダイカクソーラーカーブダイハウススキヒロキ					ご依頼人			
名古屋工業大学ソーラーカー部代表鈴木浩章						おなまえ			金額	円

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター 定期刊行物 etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げられたノウハウはDTPにおいて、特に不得意とされる版組みの書籍・表組みの買物も得意分野です。

印刷

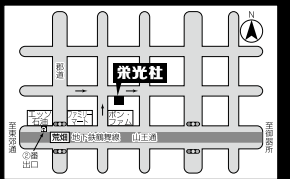
カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色刷り・品質・部数・ご予算に応じて提供いたします。
Macintoshのみならず、ワード・太郎等の通常オフセット印刷に適さないWindowsデータの出力ノウハウもありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エッセイ・雑誌・絵本等、自分の本を作りたいとお考えの方。
各種マニュアル・広報・配布文書・名簿・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本でお困りの学生・法人の方、少ロットよりお手伝いします。

総合印刷の 有限会社 栄光社

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地
TEL.(052)741-7701
FAX.(052)741-7703
URL <http://www2.con.ne.jp/eikou/>
E-mail eikou@theia.ocn.ne.jp



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

39年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってくだされば

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ (月曜定休) ☎0120-415-412
<http://www.bridal-vip.co.jp>
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 一材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ各種要素技術...

品質系全30講座 一DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法

マネジメント系全10講座 一経営品質、もしどろリーディング、
プロジェクト管理...

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22リそな名古屋ビル7F

TEL: 052-219-6025

FAX: 052-219-6026

E-mail: solution@worldtech.co.jp

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・広告主・関係官庁・各学会・大学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

鈴木 弘司

北川 啓介 (SA⑧)

古谷 正広 (MF③)

岸 直希 (EM⑫)

高木 幸治 (W⑤)

北川 慎也 (D⑤)

本多 沢雄 (ZY⑥)

小坂井孝生 (K49)

米谷 昭彦 (F60)

川村 大伸 (SS⑩)

渡 尊司 (名古屋工業大学 広報室長)

学外

小井手秀人 (C63)

浅野 健 (SU⑥)

廣瀬 光利 (E50)

吉木 満 (W56)

高取 奨 (D⑥)

山田 哲正 (Y47)

大矢 泰正 (K52)

守田 賢一 (F47)

入倉 則夫 (B47)



※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会のメールアドレスまでお願いします。